

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年11月22日聖日礼拝

---

「恵み～赦しは小声で」

詩篇130篇1節・8節

河村従彦牧師



# 聖書朗読

## 旧約聖書

### 詩篇 130 篇 1 節 - 8 節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp 9 5 4 / 第三版の聖書はp 1 0 4 0

- 1 主よ。深い淵から、私はあなたを呼び求めます。
- 2 主よ。私の声を聞いてください。私の願いの声に耳を傾けてください。
- 3 主よ。あなたがもし、不義に目を留められるなら、主よ、だれが御前に立ちえましよう。
- 4 しかし、あなたが赦してくださるからこそあなたは人に恐れられます。
- 5 私は主を待ち望みます。私のたましいは、待ち望みます。私は主のみことばを待ちます。

- 6 私のたましいは、夜回りが夜明けを待つのにまさり、まことに、夜回りが夜明けを待つのにまさって、主を待ちます。
- 7 イスラエルよ。主を待て。主には恵みがあり、豊かな贖いがある。
- 8 主は、すべての不義からイスラエルを贖い出される。

# 説教

「恵み～赦しは小声で」

詩篇 130 篇 1 節 - 8 節

河村従彦牧師



# 構成

- 1 叫び 深い淵の中からの悔い改め  
1 ~ 4 節
- 2 信仰 待ち望む 5 ~ 6 節
- 3 勧め 民への呼びかけ 7 ~ 8 節

# I 詩人の恐れ

A 深い淵から

B 恐れ ~ 祈りが聞かれない恐れ

1 耳を傾けてください

2 叫びが聞かれない理由をイメージ

3 そのイメージは正しかったか No

C 赦されてしまう恐れ

1 罪に対して、厳正な処罰を加えるから恐いのではない

2 罪をあたかもなかったかのように扱われるから、逆に恐くなる

## II 赦される恐れ

A 赦しとは不釣り合いな「要求のなさ」

B 赦される経験

C 赦しに含まれる意味

- 1 赦す側（被害者）が、赦されなければ  
ならない側（加害者）に立つこと
- 2 赦す側への肯定メッセージになる  
大人が謝ることができなければ、  
子どもは謝ることを学べない

## D 赦しについての思いめぐらし

- 1 赦しは、大声で言うようなものではない
- 2 赦されることも、大声では言えないようなことかもしれない
- 3 二つの大切な事
  - (1) 自分も同じ立場で害を被ることもある
  - (2) 自分も同じことを加害者としてやるかもしれない

## E 赦さないことの代償 ~ 報復の連鎖

### III 恵みの世界への促し

- A 十字架の意味 ~ わたしが主を  
十字架につけた
- B これ以上罪を犯さないために、  
報復の連鎖をストップされた
- C 正当な報復が神さまから来たら.....?
- D 恵みとは赦しの上に成り立っている
- E 自らの姿を問う
  - 1 『ひまわり』のカールの姿?
  - 2 『ひまわり』のヴィーゼンタールの  
姿?

しめくくり

待つ ~ 主の恵みと豊かなあがないへ